



(第 60 図)

(58) 大名田町市街部之図 (第 60 図)

年代 昭和 11 年刊行
 寸法 25.4×35.0
 所蔵 高山市教育委員会

この図は昭和 11 年 1 月刊行の『大名田町々勢要覧』の附図で、国分寺西側の南北の通りは順に一條・二條・三條通とある。また弥生町・栄町・稻荷町・新開町・花園町・白山町・梅ヶ枝町・千歳町・泉町・森前町・中園町・堀川町・住吉町・日吉町などといった現在使われていない町名が見える。また駅前の街区の南北 2ヶ所に土地区割整理候補地区が斜線で示され、多くの予定道路が点線で記される。

昭和 11 年 10 月 26 日内務省告示第 572 号により大名田町と高山町を廃し、その区域をもって高山市を設置することとなり、同年 11 月 1 日施行された。当時の大名田町の戸数は 1,930 戸 (高山町は 4,810 戸) 人口 8,369 人 (高山町は 22,488 人) 面積は 32.56 平方軒 (同 10.56 平方軒) であった。

※掲載されている情報 (文章、写真など) は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。